

ビルトイン ガスコンロ

品番

GE-BS10F
GE-BS11F

工事される方へのお願い

- 器具を正しく安全にご使用いただくために説明書をよくお読みになって指定された工事を行なってください。
- 条件を外れた設置が原因で生じた故障及び損傷は保証期間内でも有料となります。
- 設置工事が終わったら設置工事後の点検確認のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様へのお願い

- 本製品は一般家庭用の製品です。使用頻度の高い業務用にご使用の場合は安全確保のため必ず定期点検(有料)を受けてください。

設置工事後の点検確認

● チェックリスト

点検項目	点検内容	参照項目	チェック
ガス種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	2	
同梱部品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	3	
可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	2	
設置場所	水平で安定した場所に設置されていますか。	2	
給排気設備	十分給排気できる場所に設置されていますか。	2	
ガス接続工事	接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	4	

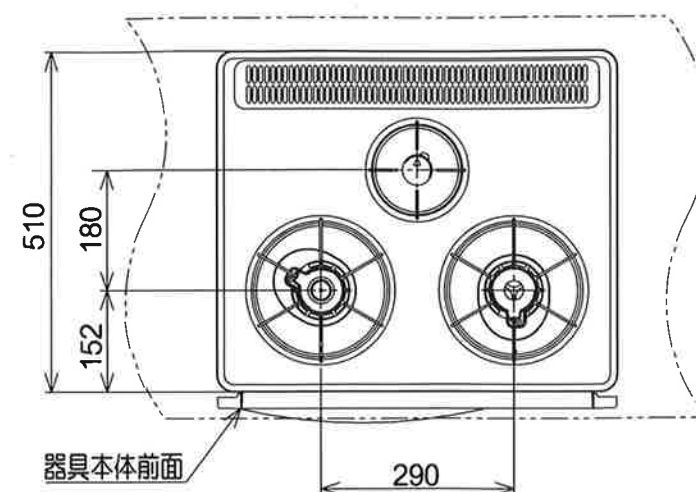
試運転

1. 取扱説明書の「使いかた」に基づき試運転を行なってください。
2. 試運転が終了した後長時間使用しない場合などは、ガス栓を閉じるなどしてください。

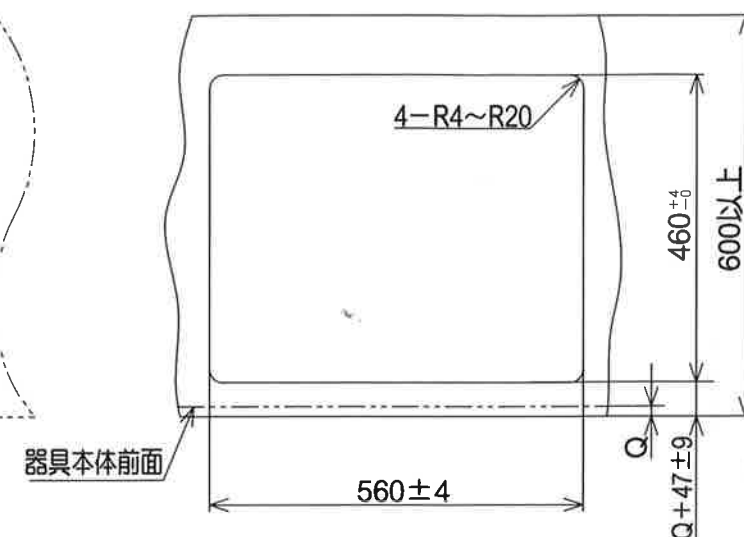
お客様への取扱い説明

1. 取扱説明書により器具の取扱いを説明してください。
2. 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様に取扱説明書とともに、設置工事説明書も合わせて保管していただくようお願いをしてください。

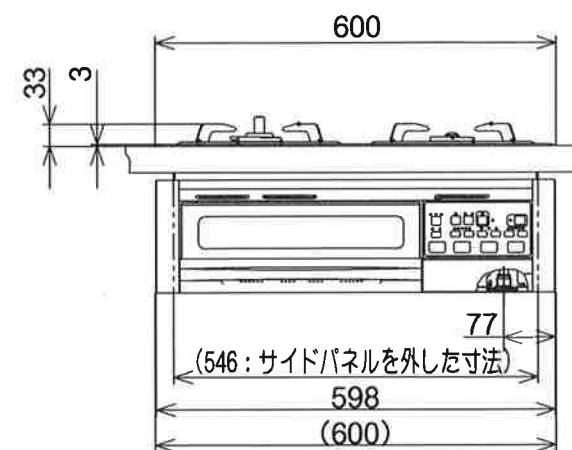
(単位: mm)



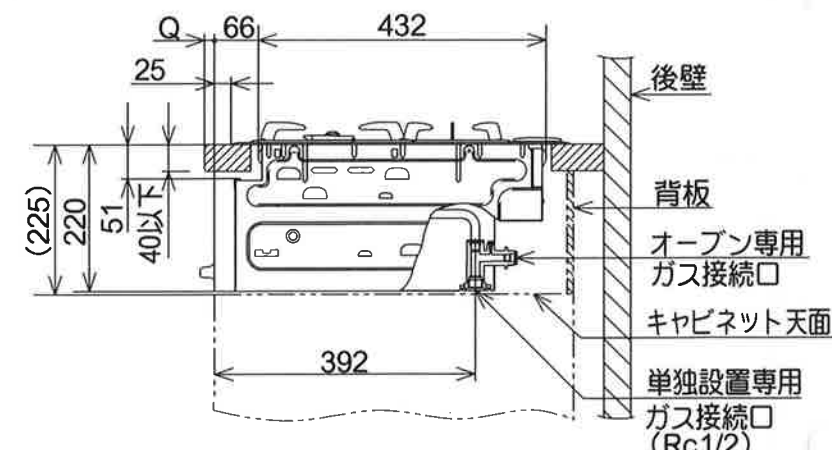
上面図



フークトップ切り込み寸法



正面図



側面図

() 内寸法はキャビネット天面までの寸法です。

※背板がない場合、器具に異常を及ぼす恐れがありますのでベニヤ板などで器具の後方をふさいでください
(段ボールなど燃えやすいものは使用しないでください。)

2. 安全上のご注意 (必ずお守りください)

器具を正しく安全に設置工事していただき、設置工事業者及びお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った設置工事を行なうと、設置工事業者または設置後の製品の不具合により使用者に生じる危険や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■建築基準法、消防法、各都市の条例、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準及び実務指針」(日本ガス機器検査協会刊)電気設備技術基準などに従う



上記に従わないと、不備により火災などの原因となります。

■この「設置工事説明書」に従い、有資格者による正しい工事を行なう

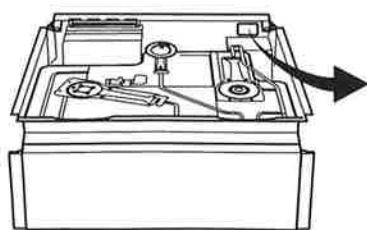


有資格者以外のもとの工事は不備による火災や器具故障の原因となります。



注意

■銘板に表示のガス種を使用する



製造年月(〇年×月製)を示します。

都市ガス12A・13Aの場合

型式名	都市ガス用	
ガス区分	12A	13A
ガス消費量		
〇〇〇〇年××月 松下電器産業株式会社		

異なるガスで使用した場合、異常燃焼となり一酸化炭素中毒や、火災の原因となります。

■設置する部屋には必ず給気口を設ける



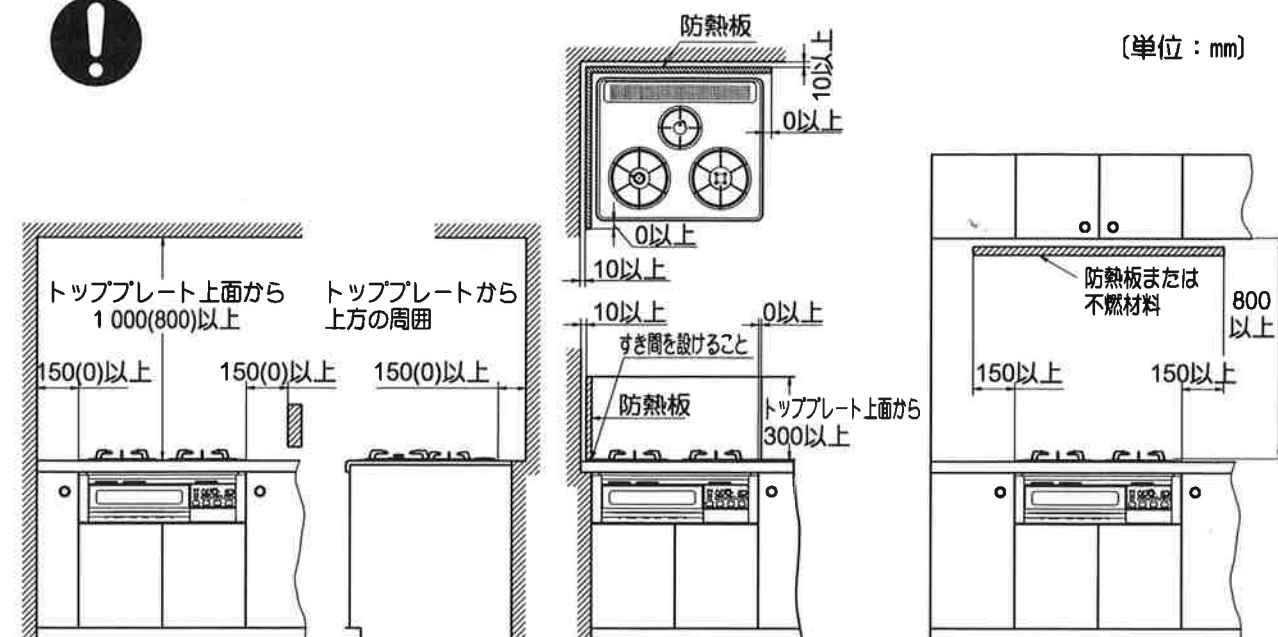
(給気口の大きさは、1.16 kW (1 000 kcal/h) 当たり
10 cm²以上を目安にする。)

十分な給気ができないと不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。



注意

■周囲の壁・天井などが防火上安全なものであるか、または防火上有効な間隔をとることができる場所に設置する



(器具と壁面との間隔を15 cm以上離せない場合、または吊り戸棚などの下面との間隔を100 cm以上離せない場合には、壁面および器具上部へ図のように防熱板(別売品)または防熱板相当の不燃材料を取り付ける。)

上図は器具と「可燃材料、難燃材料または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分など」との離隔距離を示す。可燃性の壁に、ステンレス板などを貼り付けてご使用の場合も上記内容に従ってください。

※() 内は上記に防熱板を取り付けた場合の寸法を示します。

上図の離隔距離を確保できないと器具または建築物の部分などが過熱し、火災の原因となります。

■ガソリン、ベンジン、接着剤などの引火性の危険物を扱う場所には設置しない



火災の原因となります。

■車両・船舶への設置はしない



振動により器具が転倒し、火災や器具故障の原因となります。

■この器具を設置する台所が、建築基準法に定める「内装制限を受ける調理室」に該当する場合は、台所全体についても指定の内装材を使用する



建築物の部分などが過熱し、火災の原因となります。

■設置する部屋には必ず排気口を設ける



●ガス消費量が11.6 kW (10 000 kcal/h) を超える場合は器具の真上に排気フード付排気筒(レンジフード)を設ける

十分な排気ができないと室内に排気がこもり、不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

2. 安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 注意

■できるだけ湿気の少ない場所に設置する



水のかかる場所は部品の故障やガラスの破損の原因となります。また、器具の寿命が短くなります。

■器具の回りや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類などの燃えやすいものを置かない



火災の原因となります。

■ガス接続工事は必ず有資格者が行なう



有資格者以外のもとでの工事は、不備によりガス漏れなどの原因となります。

■棚の下など、落下物の危険のある所、および樹脂製の照明器具の下には設置しない



落下物による火災や、熱による照明器具の変色の原因となります。

■丈夫で水平な場所に設置する



水平になっていないと、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災の原因となります。

■金属製のワークトップにオープンセットで接続する場合は必ず絶縁テープなどで絶縁処理をする



漏電が発生した場合、感電や火災の原因となります。(電気設備技術基準 182 条により義務付けられています。)

■ワークトップの表面がニス引きのものは使用しない



熱による変色の原因となります。

■ワークトップの材質は、熱硬化性樹脂化粧板(JIS K 6903)またはこれと同等以上の材料を使用する



他の材質のものを使用すると過熱し、火災の原因となります。

お願い

■器具後方の排気口を水切りカバー(水返しカバー)などでふさがない。また本体をタイルやモルタルなどで塗り込まない

メンテナンス時に修理ができないことがあります。

■グリル上部のワークトップ部は、高温になるため、塩化ビニル樹脂など耐熱温度の低い材料の使用は避けてください

3. 同梱部品の確認

部品名	形状	個数	部品名	形状	個数
バーナーキャップ (右コンロ用)		1	排気口カバー		1
バーナーキャップ (左コンロ用)		1	グリルアミ		1
バーナーキャップ (奥コンロ用)		1	サイドパネル 左		1
ごとく・前 (左、右)		2	サイドパネル 右		1
ごとく・後		1	止めねじ トッププレート 固定ねじ (黒色)		4
しる受け皿・前 (左、右)		2			2
しる受け皿・後		1	アルカリ乾電池 (単 1 形)		4
バーナーポート (左、右)		2	取扱説明書 設置工事説明書		各 1

■ 別売品 (防熱板)

GT-P40 幅 600 × 高さ 350 × 厚み 16 mm

KBN-2 幅 610 × 高さ 350 × 厚み 16 mm (キッチンシステム事業部扱い)

4. ガス配管・接続工事

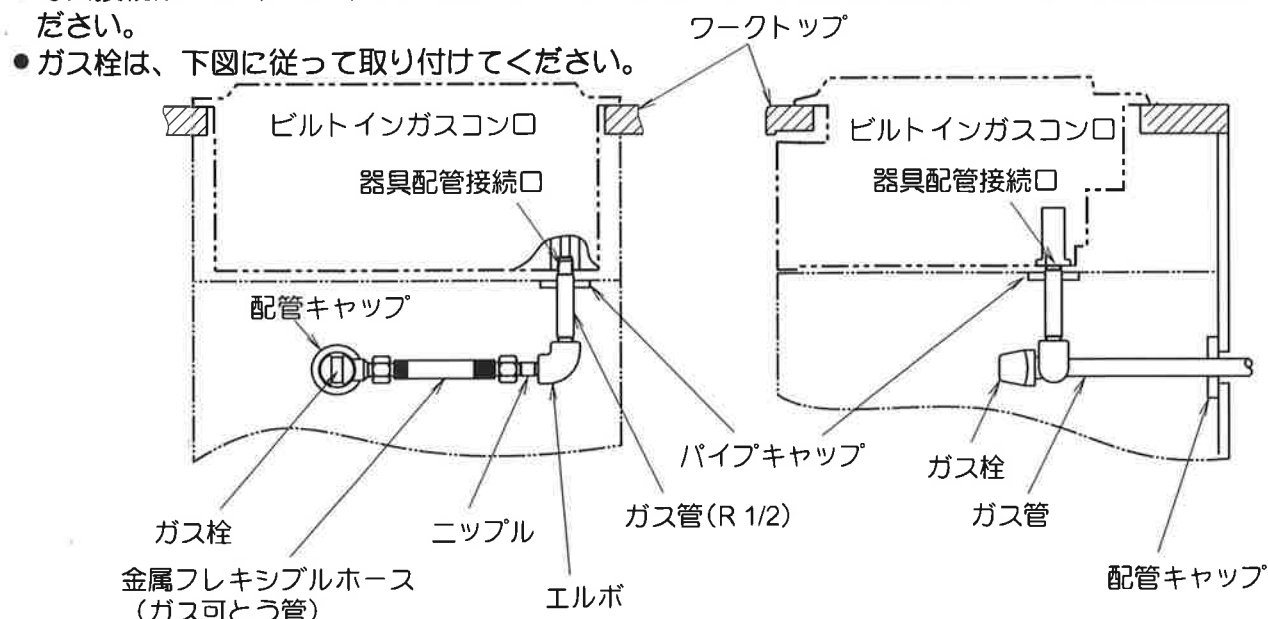
ガス配管工事

器具を設置する場所にガス栓がない場合、あるいはあっても適切でない（位置・口径）場合は、新設または交換する必要があります。なおガス栓の新設・交換はガス事業者にご相談ください。

ガス接続方法

ビルトインガスコンロ単体で設置する場合

- ガス接続はRc 1/2メネジになっています。必ず金属管または金属可とう管にてガス接続してください。
- ガス栓は、下図に従って取り付けてください。



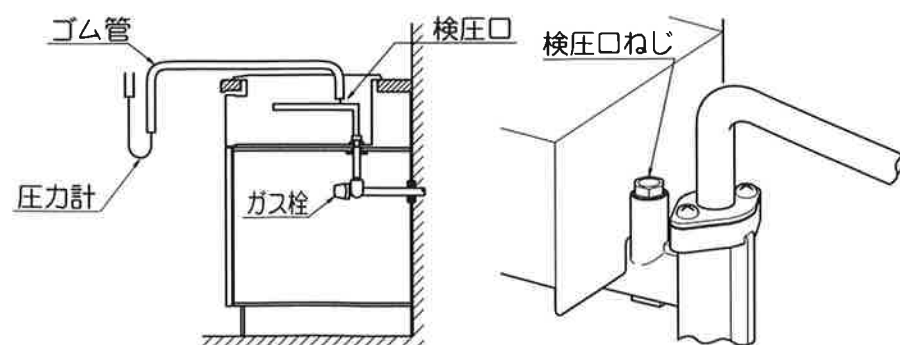
※パイプキャップや配管キャップを取付け、配管周囲の隙間はなくすようにしてください。隙間が大きいとバーナーの吹き消えや炎の吸引による異常過熱の原因となります。

ビルトインガスコンロとビルトインガスオープンをセットで設置する場合

- ガス接続、配管工事は、オープン側の「設置工事説明書」を参照してください。

工事後のガス漏れの確認

- 検圧口に圧力計を接続し、ガス栓を開いてガス圧を加えた後、ガス栓を閉じて圧力計の指示が下らないことを確認してください。



〔ガス漏れの確認終了後〕

- 検圧口ねじは、Oリングがついていることを必ず確認してから確実に取り付けてください。

ガス接続工事

ビルトインガスコンロとビルトインガスオープンとのガス接続方法

⚠ 注意

- Oリングについて次のことを確認する
 - 金属可とう管に付いていること
 - 傷がないこと
 - 1個のみ入れ、複数個入れない

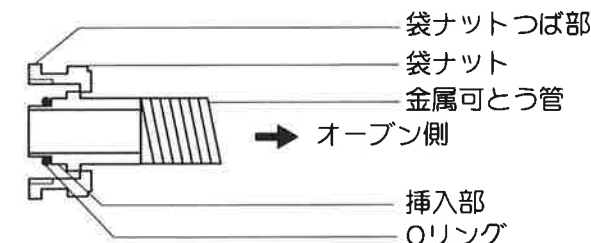
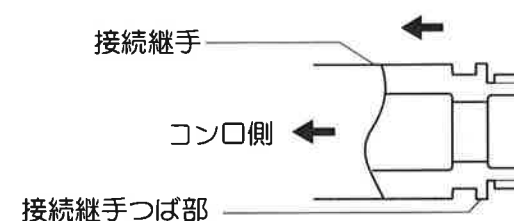


ガス漏れの原因となります。

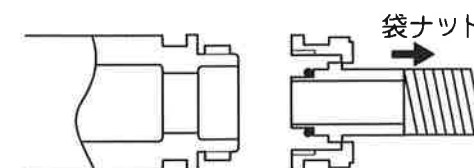
- 固定金具のスリット穴の中に接続継手と金属可とう管の袋ナットのつば部が入っていることを必ず確認する



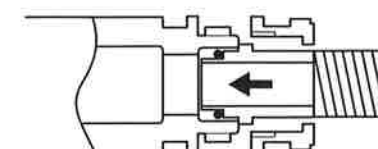
金属可とう管の袋ナットの締め込みが不十分であるとスリット穴につば部が入らず、ガス漏れの原因となります。



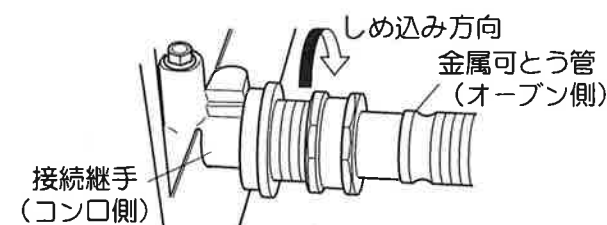
- ①オープン側に組み付けてある金属可とう管の袋ナット部を→方向へ移動させてください。



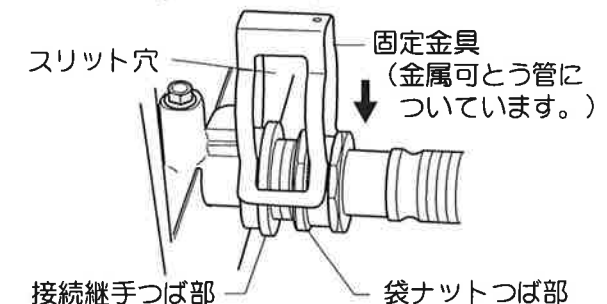
- ②挿入部を接続継手と平行に奥まで確実に挿入してください。



- ③手じめで金属可とう管の袋ナットをねじ込んだ後、スパナで確実に締め込んでください。

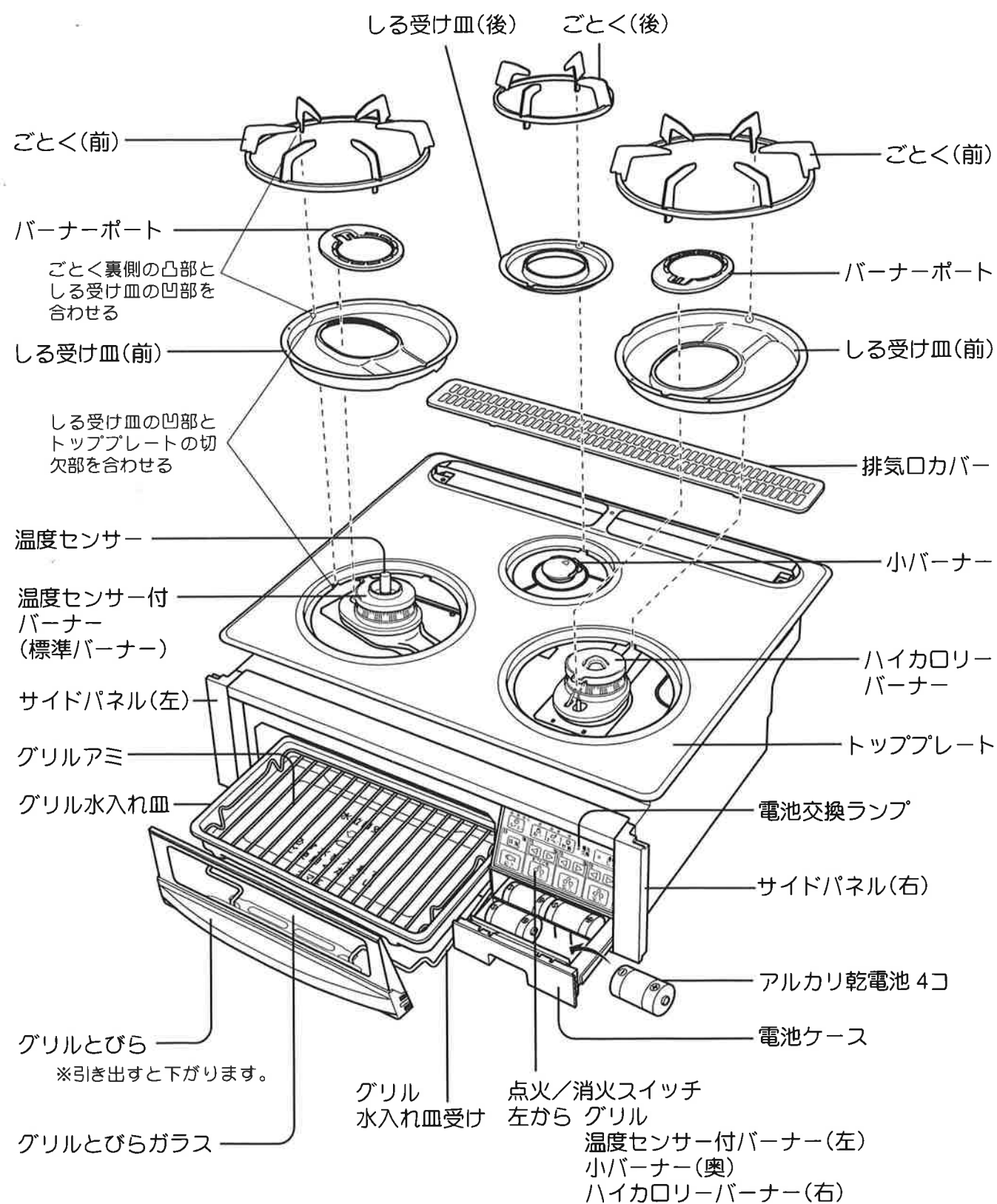


- ④袋ナットと接続継手の両方のつば部が固定金具のスリット穴に入るように固定金具をはめ込んでください。



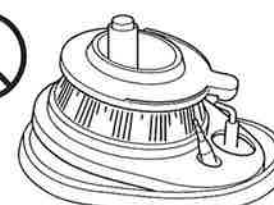
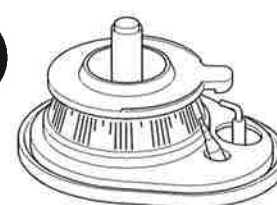
5. 器具の設置

設置部品の概要



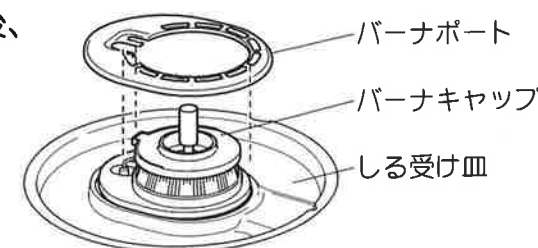
⚠ 注意

■バーナーキャップは正しくセットする



浮いた状態で使用すると、点火しなかったり異常燃焼や変形の原因となります。

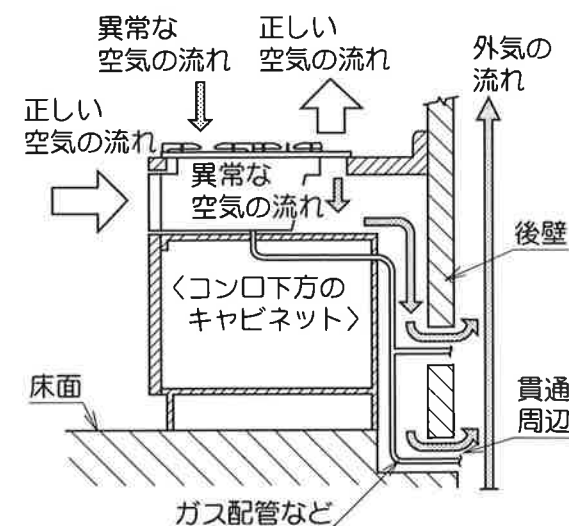
■バーナーポートは、しる受け皿をセットした後、バーナーキャップの上に正しくセットする



■キャビネットに背板があるか確認する

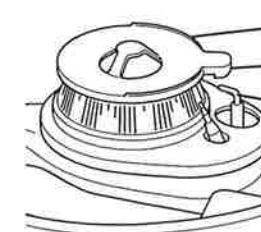
ベニヤ板などにより器具の後方をふさいでください。

キャビネットに背板が無い場合、後壁の配管貫通部で内気と外気がつながり、異常な空気の流れが起こるため、炎がゆらいだり、火が消えたり、温度センサーが正しく働かないことがあります。



器具設置時のお願い

- バーナーキャップが浮いたり、傾いたりしていないか確認する。

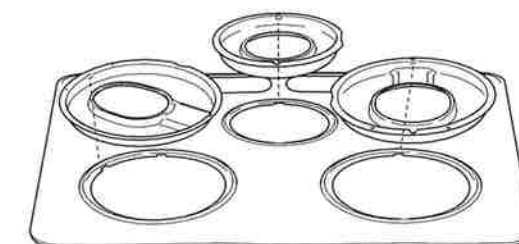


バーナーキャップの突起部を点火プラグの位置に合わせる。

お願い

- ごとく・排気口カバー・しる受け皿は、トッププレートへ衝撃を与えないように取り付けてください。(フッ素コートはく離の原因)

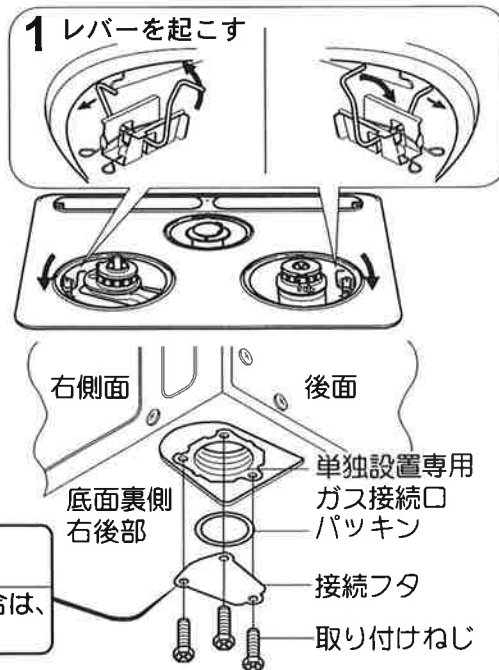
- しる受け皿は、トッププレートに正しくセットしてください。



ビルトインガスコンロ 単独で設置する場合

1 部品の取り外し

- バーナーポート、しる受け皿、バーナーキャップ、排気口カバーを取り外してください。
- グリルとびらを少し持ち上げるようにして、グリル水入れ皿を引き出してください。
- トッププレートを手前左右のレバーを矢印の方向に起こして外してください。
- 器具側ガス接続口の接続フタの取り外し。
 - ねじ3本を外して、接続フタとパッキンを取り外してください。
 - 取り外した部品は不要です。

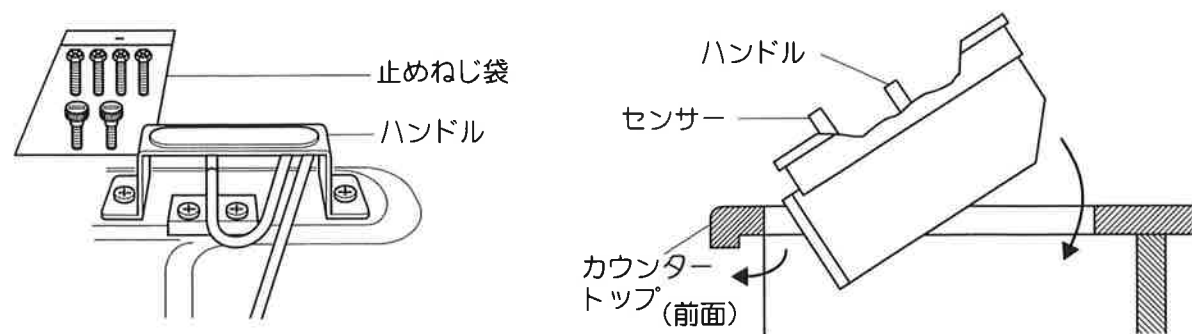


注意

■ オープンと接続する場合は、接続フタを外さない

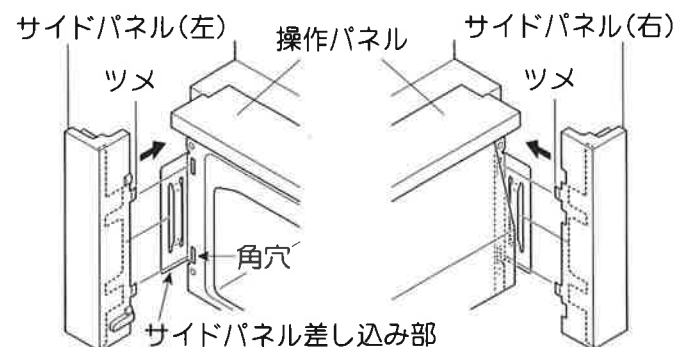
2 本体の設置

- 本体から止めねじ袋を取り外してください。
- 上面のハンドルを持ち、下図のようにカウンタートップに挿入し、はめ込んでください。
 - ※センサーや器具の前面をカウンタートップに当てないでください。



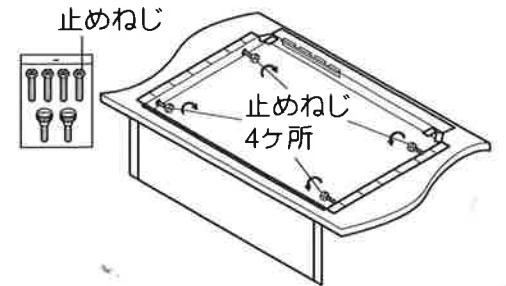
3 サイドパネルの取り付け

- 操作パネルの角穴(上下 2カ所)にサイドパネルのツメを挿入する。
 - ※グリルとびらを開いた状態で行なってください。
 - ※パネル差し込み部が変形したり、傾いたりしていないか確かめてください。
 - ※サイドパネル右と左の形状が異なりますので注意して取り付けてください。
 - ※サイドパネルの側面と上面を操作パネルに合わせて挿入してください。



4 本体の固定

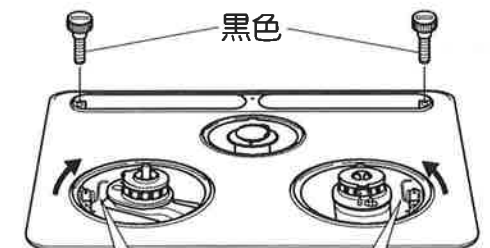
- 本体の位置決め後、止めねじ袋から止めねじ4本を取り出し、本体を固定してください。
- 締め付け要領
 - 止めねじ先端がフークトップに触れてから約1.5回転程度
 - ※必ずハンドドライバーを使用し、締め付け過ぎるとトッププレートの装着が困難になります。



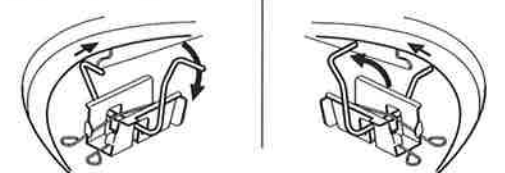
5 部品の取り付け

- トッププレートを右図1.2の手順で固定してください。
- 1. 止めねじ袋からトッププレート固定ねじ2本を取り出し、トッププレート後方の左右2カ所を締め付けてください。
- 2. 左右各々のレバーを矢印の方向に倒して固定してください。
 - ※トッププレートが確実に固定されているか(4カ所)、また、トッププレート周囲が浮いていないか確認してください。
- バーナーキャップ、しる受け皿、バーナーポート、ごとの順でセットしてください。
- グリルアミ、グリル水入れ皿、グリルとびら、排気口カバーをセットしてください。
- グリル水入れ皿を引き出した時、グリルとびらが下がるようにグリルとびらとグリル水入れ皿は分離していますので、外れた場合は取扱説明書を参照して取り付けてください。

1 トッププレート固定ねじを締め付ける



2 レバーを倒す

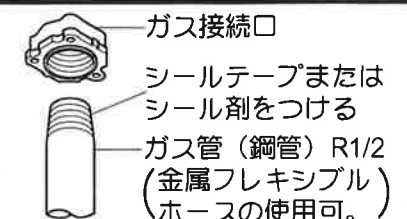


6 乾電池の取り付け

- 単1形アルカリ乾電池4個をセットした後、電池ケースは奥まで確実に閉めてください。(5. 器具の設置の「設置部品の概要」参照)

7 ガス接続

- 必ずガス漏れ検査を行なってください。(4. ガス配管・接続工事 参照)



5. 器具の設置

ビルトインガスコンロとビルトインガスオーブンをセットで設置する場合

① 部品の取り外し

- バーナーポート、バーナーキャップ、しる受け皿、排気口カバー、グリル水入れ皿、トッププレートを取り外してください。
(ビルトインガスコンロ単独で設置する場合の①参照)

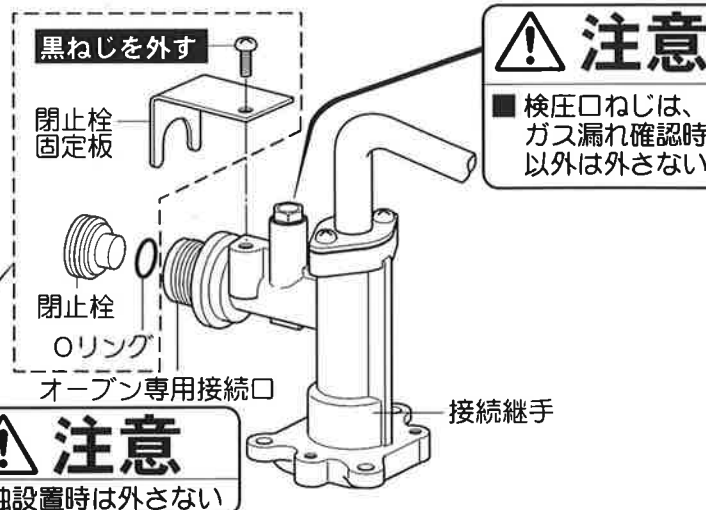
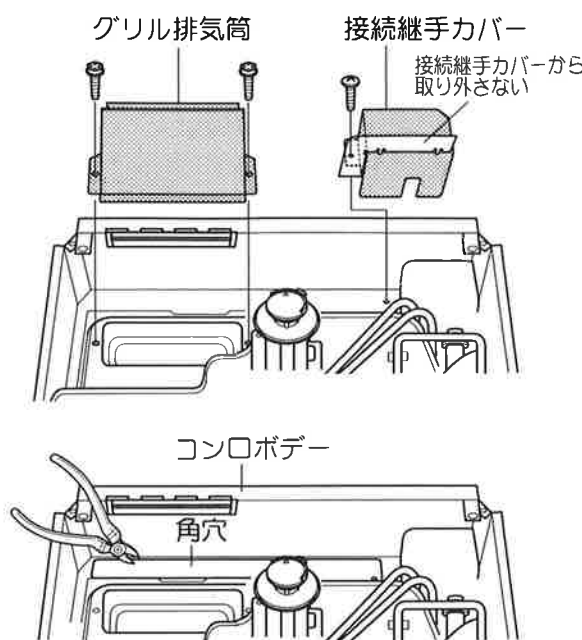
- グリル排気筒と接続継手カバーの取り外し。
 - ねじ2本を外して、グリル排気筒を取り外してください。
 - ねじ1本を外して、接続継手カバーを取り外してください。

※グリル排気筒と接続継手カバーとねじ3本は、「⑦グリル排気筒の取り付け」「⑧接続継手カバーの取り付け」で必要になりますので捨てないでください。

- コンロボデー後部に角穴をあける。
 - 角穴部のラインに沿って、ニッパーなどで切り取る。(マイナスドライバーなどで打ち抜く。) 切り取った板は不要です。

- 閉止栓の取り外し。
 - 黒ねじ1本を外して、閉止栓固定板を取り外してください。
 - 次に、閉止栓を後方へ引き抜いてください。取り外した閉止栓固定板と閉止栓とOリングは不要です。

- ビルトインガスオーブン側の作業
→ビルトインガスオーブン側に付属されている「設置工事説明書」を参照して行なってください。



注意

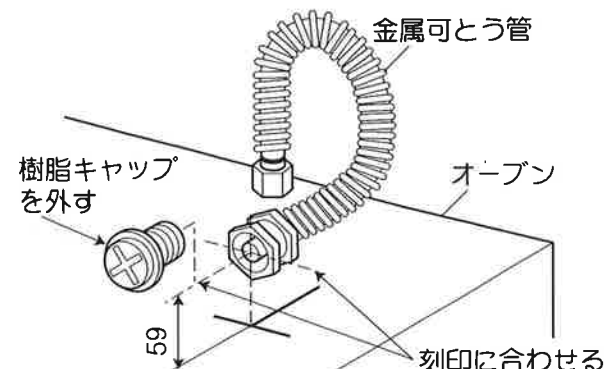
■ 単独設置時は外さない

② ビルトインガスコンロ本体の設置

- 接続時は白い樹脂キャップを外す。
外した樹脂キャップは不要です。

- ビルトインガスコンロをはめ込む前に、オープン側の金属可とう管を右図のような形状・寸法に曲げてください。

- ビルトインガスコンロ本体のはめ込み
(ビルトインガスコンロ単独で設置する場合の②参照)



③ サイドパネルの取り付け

(ビルトインガスコンロ単独で設置する場合の③参照)

④ ビルトインガスコンロ本体の固定

(ビルトインガスコンロ単独で設置する場合の④参照)

- オーブン側は、オーブン側に付属されている「設置工事説明書」を参照してください。

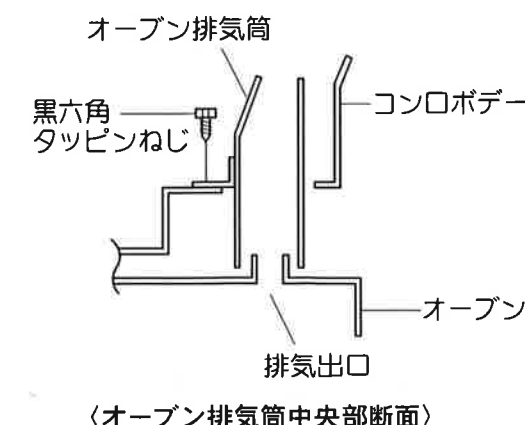
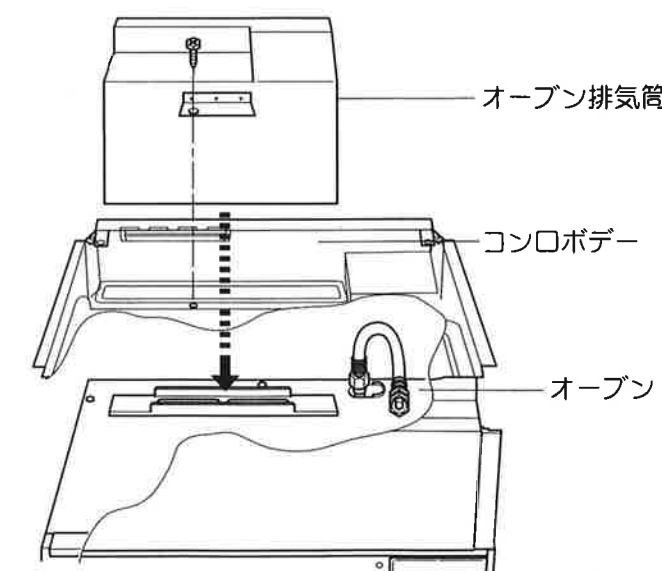
⑤ オーブンとビルトインガスコンロの接続

(接続の方法は、4. ガス配管・接続工事 参照)

- オーブン側に組み付けてある金属可とう管をビルトインガスコンロ側の接続口と接続してください。
※金属可とう管にOリングが、1個入っていることを必ず確認してください。

⑥ オーブン排気筒(オーブン側の付属品)の取り付け

- ビルトインガスコンロのボデー後部に開口した角穴を通して、オープン排気筒をオープン後側の排気出口に確実に差し込み、ねじ1本(オープン側に付属)でビルトインガスコンロのボデーに取り付けてください。

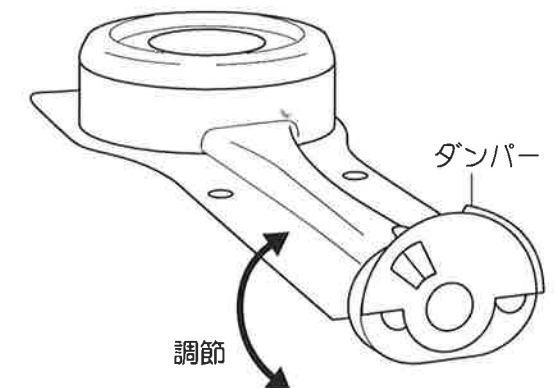


6. 試運転

試運転を行なう

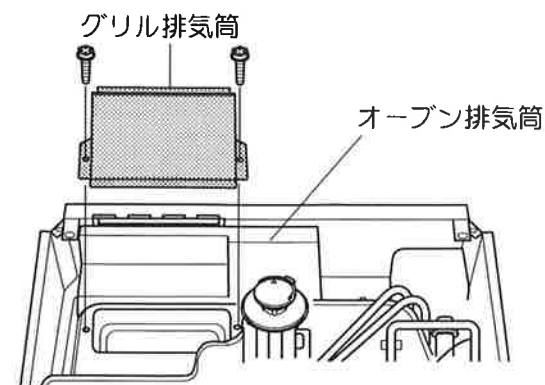
- 表面の **設置工事後の点検確認** の「●チェックリスト」によりチェックする。
- 取扱説明書に従って、コンロ、グリルの点火確認および試運転を行なってください。
- コンロバーナーの燃焼に異常がないことを確認してください。

都市ガス用で万一リフティング(飛火)や逆火などが発生した場合、ダンパーを矢印(←→)の方向に動かして先端にやや丸みがある炎に調節してください。



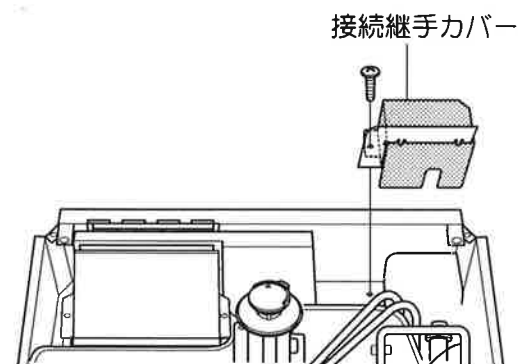
⑦ グリル排気筒の取り付け

- 元の状態に、グリル排気筒を取り付けてください。
(取り付け方法は、左記「①部品の取り外し」の「グリル排気筒の取り外し」と逆の手順になります。)



⑧ 接続継手カバーの取り付け

- 元の状態に、接続継手カバーを取り付けてください。
(取り付け方法は、左記「①部品の取り外し」の「接続継手カバーの取り外し」と逆の手順になります。)



⑨ 部品の取り付け

- トッププレート、バーナーキャップ、しる受け皿、バーナーポート、ごとく、グリル水入れ皿、排気口カバーの取り付け(ビルトインガスコンロ単独で設置する場合の⑤参照)

⑩ 乾電池の取り付け

- 単1形アルカリ乾電池4個をセットした後、電池ケースは奥まで確実に閉めてください。
(**5. 器具の設置** の「設置部品の概要」参照)

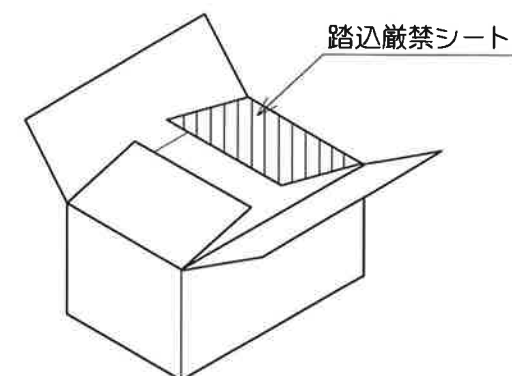
⑪ ガス接続

- 必ずガス漏れ検査を行なってください。(**4. ガス配管・接続工事** 参照)
- ビルトインガスオープン側に付属されている「設置工事説明書」を参照して行なってください。

7. 踏込厳禁シートの取付け

踏込厳禁シートを取付ける

- 踏込厳禁シート(梱包箱の右フラップ)を切り取り、器具上面に置いてください。



製造者

松下電器産業株式会社 ガスシステム事業部

奈良県大和郡山市筒井町800

TEL (0743) 56-1121 〒639-1188